

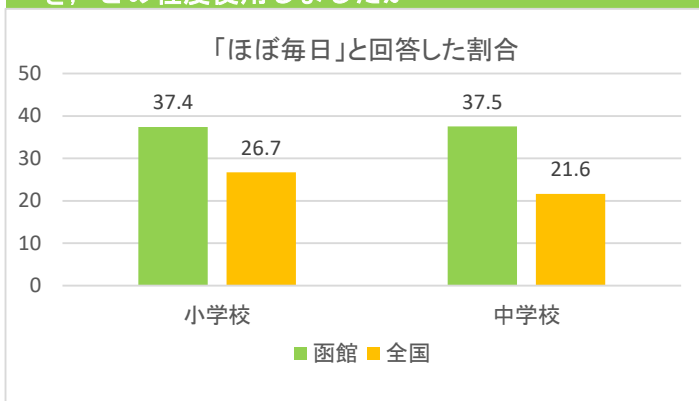
# 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

## 〈函館の子どもの特徴〉

- 授業中に学習用端末を活用する場面が増えている。いじめは許されないという意識がある。
- 「ゲームを利用する時間」、「スマートフォン等でSNSや動画視聴する時間」が長いなどの課題がある。
- 算数や数学に一層の努力が必要である。

## 質問紙調査の結果から見える成果

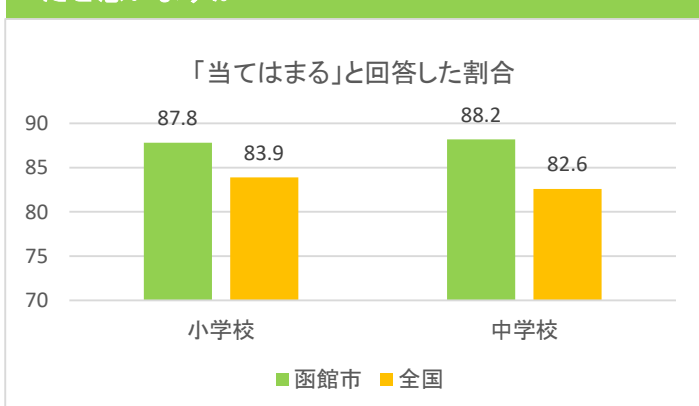
Q 5年生までに（中：1, 2年生のときに）受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



児童生徒質問紙調査において「5年生までに（中：1, 2年生のときに）受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」について、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合が、小学校で37.4ポイント、中学校で37.5ポイントと全国と比較して高い傾向にあります。

学校質問紙において、ICT機器を活用した授業を行っていると回答している学校の割合が高い傾向です。

Q いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、小学校で87.8ポイント、中学校で88.2ポイントと高い傾向にあります。

学校質問紙において、学校生活をよりよくするために話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を合意形成できるような指導や、特別の教科 道徳において児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていると回答している学校の割合が高い傾向です。

※ グラフについては特徴がわかるようにメモリを設定しています。

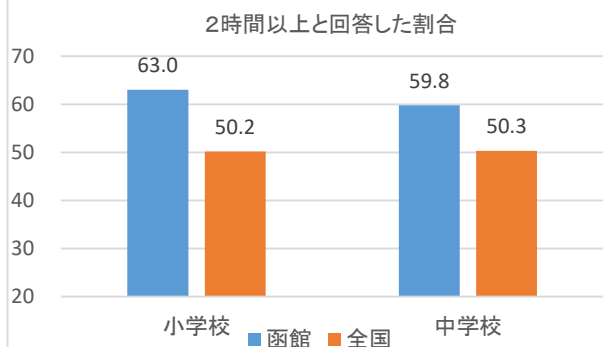
## 〈考察と今後に向けて〉

一人に一台の学習用端末が配付され、各学校が効果的に活用していることや、いじめはどんな理由があっても許されないことであるという意識をもつ児童生徒が多いことが成果と考えられます。

今後、今年度6月から全ての中学校に整備されたAIドリルを活用するほか、端末を効果的に活用した実践等を紹介し、児童生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな学習活動の充実を図るよう働きかけてまいります。また、引き続き、「いじめ等の問題を考える集会」等を通じて、いじめの未然防止、早期発見・早期対応について対策を推進してまいります。

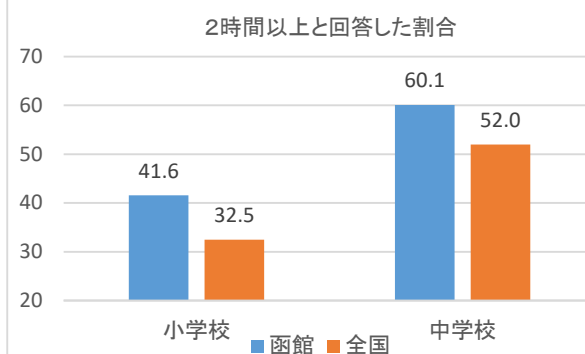
## 質問紙調査の結果から見える課題

Q 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



児童生徒質問紙調査において、「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」について、2時間以上と回答した児童生徒の割合が小学校で63.0ポイント、中学校で59.8ポイントと高い傾向にあります。

Q 普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか

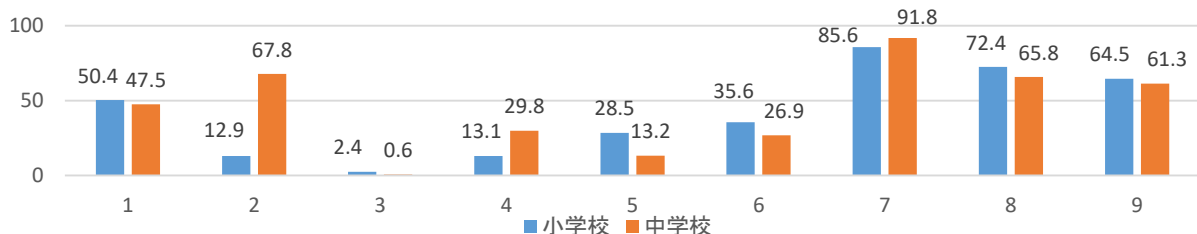


児童生徒質問紙調査において、「普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」について、2時間以上と回答した児童生徒の割合が小学校で41.6ポイント、中学校で60.1ポイントと高い傾向にあります。

Q 放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか(複数回答)

- 1 家で勉強や読書をしている
- 2 放課後子供教室や放課後児童クラブに参加している  
(中:学校の部活に参加している)
- 3 地域の活動に参加している
- 4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 5 習い事をしている
- 6 スポーツをしている
- 7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている
- 8 家族と過ごしている
- 9 友達と過ごしている

ゲームをしたり、SNSを利用したりしていると回答した児童生徒の割合が、小学校で85.6ポイント、中学校で91.8ポイントと高い傾向です。



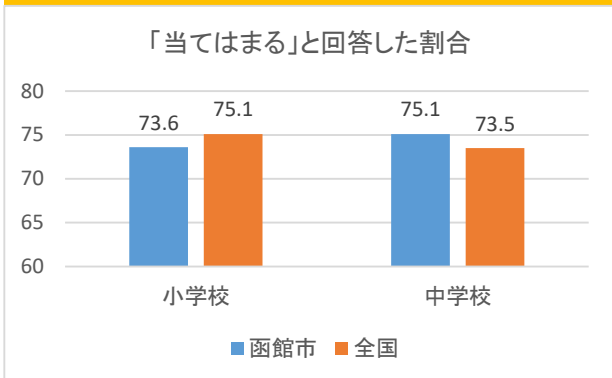
### 〈考察と今後に向けて〉

ゲームや動画視聴、SNSの利用に関する課題は、家庭での利用時間を含めて、1日の生活時間や放課後、休日の過ごし方を見直すことや、ゲームの利用について家庭での約束事を改めて確認することが今後の課題と考えます。

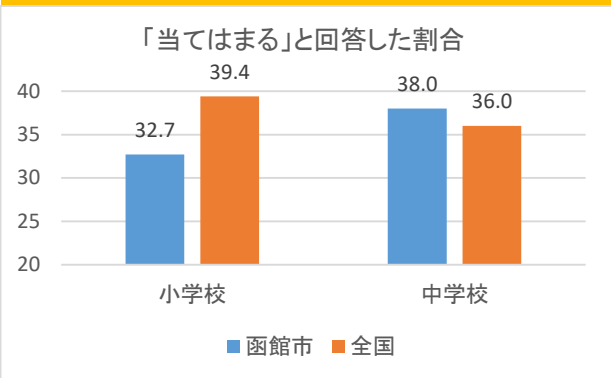
ゲームを長時間行うことでのゲーム障害の症状や、SNSをはじめとするインターネットを利用する中でのトラブル等について学校、家庭、地域に周知するとともに、家庭でのルールについて改めて話し合う機会を設けるよう働きかけてまいります。

## その他の特徴

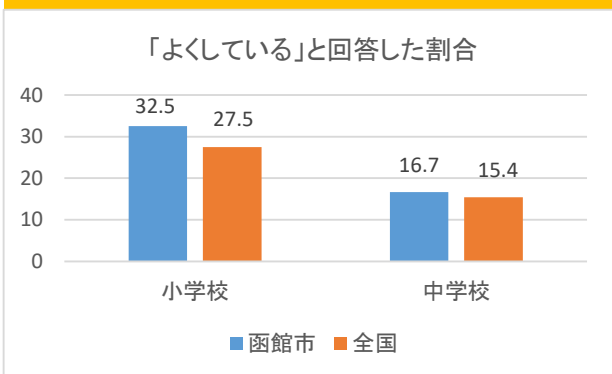
Q 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



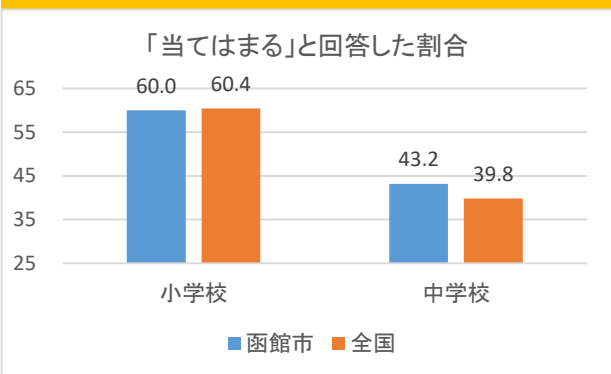
Q 自分にはよいところがあると思いますか



Q 家で自分で計画を立てて勉強していますか



Q 将来の夢や目標をもっていますか



## 平均正答数・平均正答率

〈小学校〉

	国語	算数	理科
函館市	9.1問／14問 65%	9.6問／16問 60%	10.6問／17問 63%
全国	9.2問／14問 65.6%	10.1問／16問 63.2%	10.8問／17問 63.3%
全道	9.0問／14問 64%	9.8問／16問 61%	10.7問／17問 63%

〈中学校〉

	国語	数学	理科
函館市	9.6問／14問 68%	6.3問／14問 45%	10.0問／21問 48%
全国	9.7問／14問 69.0%	7.2問／14問 51.4%	10.4問／21問 49.3%
全道	9.6問／14問 69%	6.9問／14問 49%	10.3問／21問 49%

※ 函館市、全道の平均正答率については、小数点以下を四捨五入した整数値で結果を示しています。  
上段：平均正答数，下段：平均正答率

※ 今後、函館市の児童生徒の状況については、HPに追加して掲載してまいります。

※ 函館市では、全国や全道、本市の平均正答率に大きな差がなくなってきたことから、昨年度から「函館の子どもたちの特徴」を中心に公表しています。